

ありと きりぎりす

ありと きりぎりす (イソップのおはなし)

なつの あいだ、ありたちは あせを かいて、
たべものを あつめて いました。

きりぎりすは、木の かげで うたを うたいながら
わらいました。

「こんなに あついのにな、よく はたらくね。」

やがて ふゆに なりました。のはらは、ゆきで
まっ白です。

きりぎりすは、たべものが なくて こまって
しまいました。

「ありさん、なにか たべものを わけて
くれないかい。」

ありたちは、あつめて おいた たべものを わけて
あげました。きりぎりすは、つぎの なつは

はたらこうと おもいました。

① なつの あいだ、ありたちは なにを して いましたか。

ア うたを うたつて いた。

イ たべものを あつめて いた。

ウ ねて いた。

② ふゆの のはらは、なにで まっ白でしたか。

③ きりぎりすは、なにが なくて こまりましたか。

④ さいごに、きりぎりすは どう おもいましたか。

ア つぎの なつは はたらこう。

イ つぎの なつも うたおう。

ウ ありは ずるい。